

《白光園の看取りケアについての紹介》

白光園での看取りとは

白光園は医師の診断のもと、回復が困難な場合、最期の場所としての役割を果たします。ご利用者様の意思、ならびにご家族の意向を最大限に尊重して、死を早めることも、死を遅らせることもしない、自然に訪れる死を受け入れ支える方法でケアをします。

- ①苦痛がある場合、医師の診断を受けながら、苦痛を取り除くよう、また和らげるようケアに努めます。
- ②食事はできる限り経口から摂取できるように努め、ご本人の身体の状態やお気持ちに添った食事の提供に努めます。
- ③身体の保清に努め、身の周りの環境を整えます。
- ④常に安心できる言葉かけをし、不安を取り除けるように努めます。
- ⑤ご家族に随時状態をご連絡いたします。
- ⑥最期の時はご家族の方に看取っていただけるように専用の個室を整えています。
- ⑦ただし、ご本人ご家族の方の意向に変化があった場合は、その意向に従って援助させていただきます。



(専用の個室)

尊厳ある死を迎えられる為に

白光園内において職員による「ハートケア委員会(看取り介護委員会)」を設置しています。

- *心のこもったケアの提供に努めるためにこのような名称にしました。
- 看取り介護が充実できるように平成16年に看取り介護委員会を発足しました。

<活動内容>

- ①看取り・死生観についての勉強会(著書「平穏死のすすめ」を各通り毎に購入)
- ②看取り介護マニュアル作成
- ③看取り介護プラン作成と実践
- ④その人らしい生活空間の提供、家庭的な環境整備
- ⑤生きた証としてのアルバム作成
- ⑥お亡くなりになった後のカンファレンス(会議)などの活動をしています。

出来る限り家庭に近い環境の中で、自然な状態で最期までその入らしく過ごし、自然な死を迎えるということが、高齢者にとって『尊厳ある死』といえるのではないのでしょうか。

白光園で最期まで過ごすことができ、看取ることができて良かったと感じていただけるよう、日々勉強を重ねながら全職員で努力してまいります。

*ハートケア委員が看取りの想いを綴った文章がありますので、白光園にお越しの際は目を通して見て下さい。

はっぴーあいさし



白光園デイサービスセンター
所長 小関 忠蔵

新年明けましておめでとうございませう。着任以来、在宅生活を支える一員として精励している中、大変多くの方から御利用を頂いております。これもご利用者様はもちろん御家族の方々、各関係機関、地域の皆様やボランティアの方々のご協力のお陰であり、皆様に心より感謝を申し上げます。

です。「おもしろかった」、「もっと早く来つといえがった」とご利用者様の声を頂くと、職員も更なる奮闘の活力源になります。



進みたいと思います。

平成14年3月開設以来、地域の皆様方に支えられ、育てられながらお蔭様で9年目を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

体感できるのが特徴になっております。ご利用者様それぞれの個性を大切にご希望や目的に沿った内容を優先し、無理なく楽しく笑顔の絶えない充実した一日となるよう、職員一同日々努力しております。「おもてなしの心」を常に持ち質の高いサービス提供により、地域の皆様に喜ばれ信頼される施設作りに邁進していく所存です。今後とも職員共々宜しくお願いいたします。



はっぴーデイサービスセンター
所長 田苗 和司